

2学期が始まってから壁面でどんなものを作りたいか聞いてみると、夏休みでの経験からたくさん意見が出ました。話し合いの結果、水族館を作ることに決まると、みんなで作った水槽の中にクラゲやタコなどいろんな生き物を作っては水槽の中に連れてきてくれました。海の生き物があふれる水槽を見てさらにイメージが膨らんだのか、「イルカショーをしたい！」とさらにアイデアを出し合いながら、同じ目的に向かって役割分担をしたり、協力をしたりしながら取り組んできました。

9月

水族館を作ろう！

りす組 2024年9月～

9月に「壁面は何を作るか？」をクラスで話し合いをしました。博物館や動物園など様々な意見が出てきましたが、水族館という意見が出ると「それいいね！」「作りたい！」という声がたくさん出てきて水族館を作ることになりました。

水槽作り



水槽作りは、青色と水色の絵の具にローラーと手形で作りました。手形では、絵の具の感触や色の混色を楽しんでいました。「海の生き物も水槽に描きたい！」という声があったのでクレヨンで生き物を描きました。クレヨンの上にローラーで色を付けると生き物が浮かび上がり「魚とタコが泳いでみたい！」と子どもたちも驚いていましたよ！

水族館の生き物を作ろう！

りす組 2024年9月

“空き箱”や“カップ”など生活素材を使って水族館にいる生き物を作りました。子どもたちは、製作することが大好きで好きな素材を使い、クラゲやサメ、タコ、など様々な生き物を作りました。

何を作るかをイメージしてから材料選びをしており、カップは「クラゲに似てるから画用紙で足を付けよう！」と見立てながら作る姿が見られました。また、紙皿に甲羅とお腹を画用紙で貼り付けたり、トイレトペーパーの芯で足を作ったりしながら亀を作る子の姿も見られました。他にもサメやタコ、イルカなど様々な海の生き物を作る子もいました。

様々な箱を組み合わせて作っていきます。

ハサミでチョキチョキ



たこができたよ！

亀ができたよ！

水族館の水槽が完成しました。

11月

イルカショーをやりたい！

2024年11月～



クラスで水族館作りが始まり、今度は何を作りたいかをりす組会議で話し合いました。子どもたちから「みんなでイルカショーをやりたい！」という意見が出てきたので「イルカショーではどんなことをしているか？」を子どもたちに発表してもらいました。水族館で見た経験がある子どもたちから「ジャンプするよ！」「ボールにタッチする！」「飼育員さんが手で合図して餌をあげるんだよ！」など様々な意見が出てきました。また、見たことのない子どもたちもいたのでイルカショーの動画をクラスみんなで見てみました。動画を見てみると指をクルクル回すなど様々な手の動きでイルカに合図していることが分かりました。動画を見終わると飼育員の真似をして手を動かしたり、イルカ役の子はイルカの真似をして動きを表現したりすることを楽しんでいます。自分たちでも「イルカを作ってやってみよう！」という気持ちももっと強くなり、どうやってイルカを作るか話し合いました。話し合うと棒にイルカを貼り付けて動かすペープサートチームとイルカの顔と体を着て変身するチームに分かれて作ることに決まりました。これからどんなイルカショーになるか楽しみです。

動画をイルカショーを見ました！



りす組会議で子どもたちから出てきた意見

イルカを作ろう！

りす組 11月

先日のイルカショーで決まった「イルカに変身チーム」と「ペープサート(イルカを表現するチーム)」に分かれてイルカ作りがスタートしました。

イルカに変身チーム

「どんな形にするか？」「何の材料で作るか？」をチームで話し合い、イルカの帽子と洋服のデザインを描いてイメージを共有しました。



土台の帽子をあらかじめ準備しておくで画用紙を帽子に合わせて切り、セロハンテープや両面テープなどそれぞれ工夫しながら切り貼りして製作していました。イルカの顔も特徴を捉えながら細かく作る姿が見られました。

かわいいイルカが完成したよ！

ペープサートチーム

2人組になってイルカを作りました。4枚の画用紙をセロハンテープで貼り合わせたり、紙を押さえる人、紙を切る人など2人で役割を決めながら協力して作って作る姿が見られました。



模様作りでは、クレヨンでハートや虹色に線を描いたり、リボンやハート型の紐帯材など様々な素材をくっつけてイルカの体の模様を作りました。友達と「どこに素材を貼るか」「絵を描くか」など話し合いながら作ることを楽しんでいました。

こんなイルカができたよ！

イルカショーの合図を考えよう！

イルカショーで使うペープサートや衣装が完成してから次はイルカショーでのイルカの動きと飼育員さんの合図を考えました。イルカの動きは、以前の会議で「ジャンプする！」「ボールにタッチする！」などの意見が出ていたので、今度は飼育員がどんな合図を出しているかに注目して実際のイルカショーの動画をみんなで見てみることにしました。



どんな合図があるのかな？



→実際に見た動画の画像です

動画では、イルカが回転しながらジャンプしたり、声を出して鳴いたりする場面がありました。子どもたちから見ると飼育員さんの合図がどれも同じように見えたようで、「自分たちで考えて作りたい！」という意見が出たので様々な手の動きをみんなで試しながら決めました。

ジャンプ



→手をまっすぐ挙げる！

ボールにタッチ



→ボールが出てくる・手をまっすぐ挙げる！

回転する



→人差し指をクルクル回す！

イルカの鳴き声



→両方の人差し指を指揮者みたいに揺らして動かす！

イルカショーをやってみよう！

完成したイルカの衣装とペープサートを使って実際にホールや保育室でイルカショーをやってみました。

ペープサートチーム

イルカを模したペープサートは2人1組で動かすので、息を合わせて動かすことが難しく、2人とも「自分の思い通りに動かさない」という思いを抱え苦戦していました。保育者が動かす様子を見てみたり、友達と何度も繰り返し試したりする中で、「ゆっくり動かしてみよう！」「くねくね動かしたらいいかも！」「せーので動かそう！」など、お互いに意見を出し合いながらどうやったらイルカらしい動きを表現できるかを考えながら取り組んでいました。

自分だけが急に動かすとペアの子がうまく持てないことにも気づいた子どもたちは相手と息を合わせてゆっくりと動かしつつ、今では手の合図を見ると何の動きをするか覚えてお互いに声を掛け合いながら動かして表現することを楽しんでいました。



イルカ変身チーム

イルカ変身チームは、自分たちがイルカになりきってイルカの動きを表現します。動画で見たイルカの動きを思い出しながら表現することを楽しんでいました。

〈イルカの表現の工夫〉

- ・速く泳ぐ→走ってスピードを出す
- ・イルカっぽくする→両手を前に突き出す
- ・ジャンプ→走りながら上にジャンプする

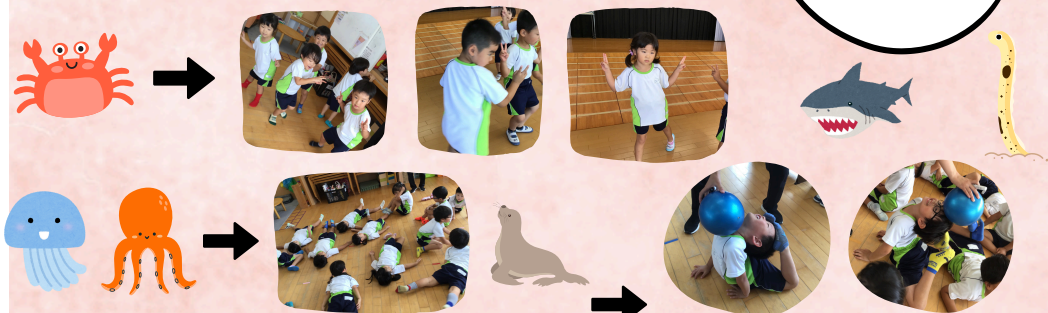


水族館にはどんな生き物がいるかな？

イルカショーを進めていく中で「水族館は、イルカショーのほかにいろんな生き物が水槽の中にいっぱいいるよ！」と子どもたちが教えてくれました。そこで生き物が何がいるか尋ねてみると「くらげ、かに、たこ、サメ、チンアナゴ」など様々な海の生き物が出てきました。知っている生き物は、イメージして体で表現ができたのですが、動きが分からない生き物は動画を見て真似してみました。



どんな動きをしているかな？



発表会活動を通して

恥ずかしがりやで人前に立つことが苦手な子が多いうりす組さん。今回のイルカショーではお友達パワーを借りて2人ペアで動かしたり、協力したりする場面も盛り込みました。ペアだからこそ息を合わせる難しさはあったようですが、お互いに話をし、協力し合う姿が見られるようになりました。また、友達と一緒にという安心感もあり、「誰かと一緒にだったらできた」、「一緒に楽しい」という経験にも繋がっています。そのことで日頃の友達との関わりが深くなったり、自然と助け合ったり姿が増えたように感じます。

「最後はみんなで肩を組んで終わりたい！」そんな子どもたちの思いを受け、りす組さんらしくみんなで肩を組んで歌い発表会を閉じます。笑顔が溢れるりす組の子どもたちにご注目ください。

